

経営比較分析表（令和4年度決算）

福島県 桑折町

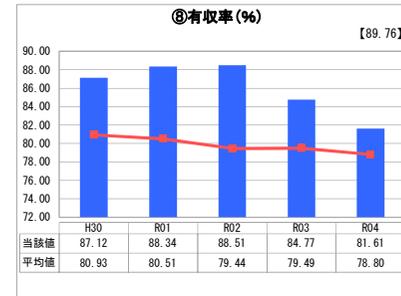
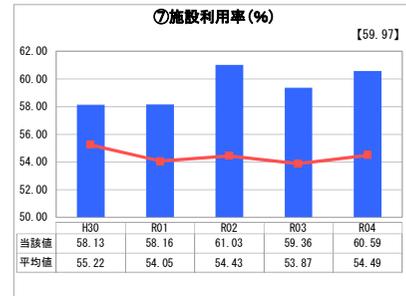
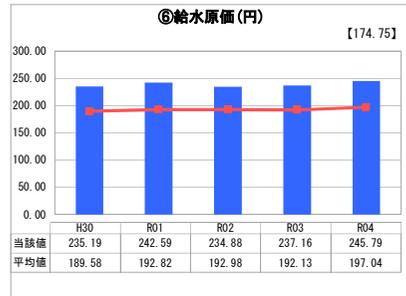
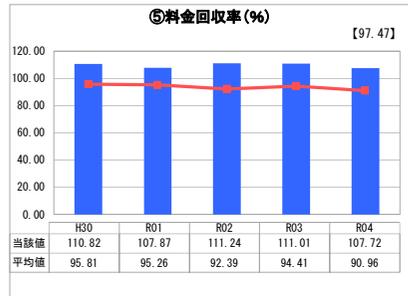
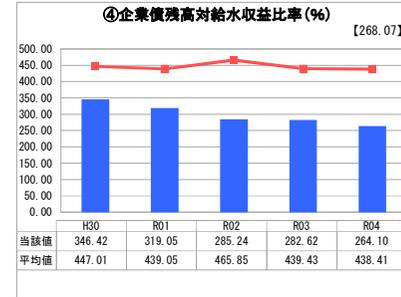
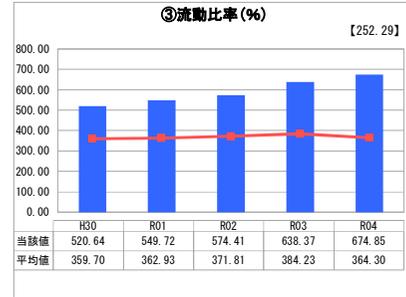
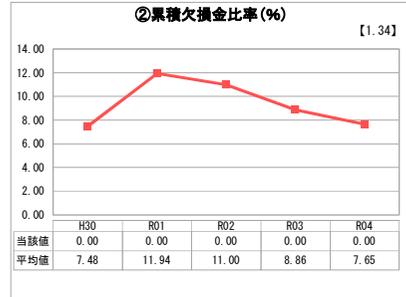
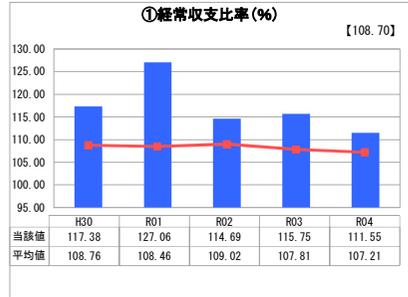
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	72.26	93.45	3,520	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,229	42.97	261.32
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,394	19.15	542.77

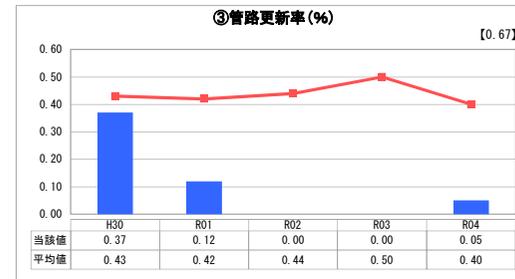
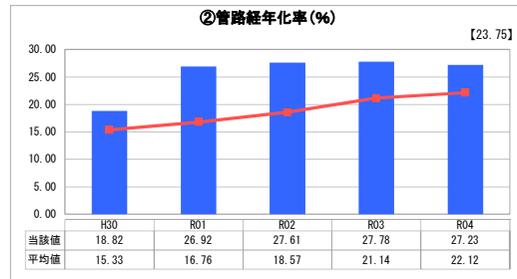
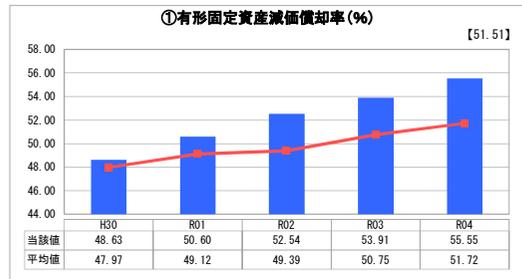
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町における水道事業は、安全で安心な水の安定供給に努めるとともに、水道事業の健全な経営に努めてきた結果、下記のとおり分析しています。

【健全性】

- ① 経常収支比率は100%を超え、類似団体の平均値を上回っており、黒字経営が継続されています。しかし、長期的には給水収益の減少や老朽施設の修繕等による費用の増加が見込まれることから、より一層の経営効率化に努める必要があります。
- ② 累積欠損金比率は0%であり、健全な値になっています。
- ③ 流動比率は、類似団体平均値を上回り、短期負債の支払能力を十分に有しています。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、計画的な企業債償還によって年々減少傾向にあり、類似団体平均値を下回っています。

【効率性】

- ⑤ 給水原価は、類似団体平均値を上回っておりますが、料金回収率は100%を超え、類似団体平均値を上回っています。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均値を上回っており、固定資産及び水資源を効率的に活用しています。
- ⑧ 有収率は、類似団体平均値を上回っていますが、R3年2月、R4年3月に発生した福島県沖地震の影響と考えられる漏水により、R4年度は大幅に減少しました。今後とも漏水調査・修繕を継続的にを行い、有収率の向上に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

当町の水道事業における水道施設の老朽化の状況は、主に有収率の向上と老朽管の布設替えを目的とした工事を行った結果、下記のとおり分析しています。

- ① 有形固定資産減価償却率は、年々上昇傾向にあり、固定資産の老朽化が進んでいる状況です。
- ② 管路経年化率は、類似団体平均値を上回っており、法定耐用年数を経過した多くの老朽管を保有している状況です。
- ③ 管路更新率は、低い状況が続いておりますが、管路の重要度や優先度、漏水状況などを勘案し、計画的な老朽管の布設替えを行っていく必要があります。

全体総括

当町の水道事業については、上記1、2に記載のとおり、一定の健全性を確保できていると判断しています。しかし、長期的には人口減少に伴う給水収益の減少や老朽施設等の更新・修繕による費用の増大が見込まれることから、より一層の経営効率化に努める必要があります。今後は、「水道事業ビジョン」、「経営戦略」を基にした計画的な管路及び施設等の更新・修繕を行い、長期にわたる健全経営に努めていきます。